

みずほCustomer Desk Report 2020/10/05 号 (As of 2020/10/02)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値	105.57
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.56	1.1742	123.90	1.2880	0.7181
SYD-NY High	105.66	1.1745	123.99	1.2952	0.7188
SYD-NY Low	104.95	1.1696	123.02	1.2835	0.7131
NY 5:00 PM	105.30	1.1717	123.46	1.2940	0.7163
NY DOW	27,682.81	▲ 134.09	日本2年債	-0.137	▲0.70bp
NASDAQ	11,075.02	▲ 251.49	日本10年債	0.020	1.00bp
S&P	3,348.44	▲ 32.36	米国2年債	0.132	0.39bp
日経平均	23,029.90	▲ 155.22	米国5年債	0.287	1.27bp
TOPIX	1,609.22	▲ 16.27	米国10年債	0.703	2.47bp
シカゴ日経先物	23,220.00	▲ 160.00	独10年債	-0.5360	▲0.70bp
ロンドンFT	5,902.12	22.67	英10年債	0.2445	1.05bp
DAX	12,689.04	▲ 41.73	豪10年債	0.8490	▲4.50bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.68	1.28%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.75	0.15%
NY金	1,907.60	▲ 8.70	USDJPY 6M Vol	7.65	0.16%
WTI	37.05	▲ 1.67	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	144.122	▲ 1.94	EURJPY 3M Vol	8.01	0.03%
ドルインデックス	93.84	0.13	EURJPY 6M Vol	8.05	0.07%

東京	東京時間のドル円は105.56レベルでオープン。午前は雇用統計を控えた様子見ムード。しかし、正午過ぎにトランプ大統領の側近が新型コロナウイルスと判明しメア夫人とともに検査結果を待つ間、自主隔離に入ると表明。同報道を受け、ドル買いが選好され、105.66まで上昇。その後、トランプ大統領とメア夫人も陽性と伝わると市場環境は反転しリスク回避の円買いが広がり一時104.95まで下落し9月23日以来の安値をつけた。その後は徐々に値を戻し105.23レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.23レベルでオープン後、上述米大統領が新型コロナウイルスのニュースを受けたドル売りが一服した模様。午後に雇用統計を控え、105円の手前と20銭の狭いレンジで横ばいし、105.17レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2784レベルでオープン。朝方にジョンソン英首相と欧州委員長、英EU離脱巡り3日に協議するのと報道が市場に伝わるとポンド買いが優勢となり、1.2952まで上昇し、1.2939レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク市場のドル円は105.17レベルでNYオープン。注目の米非農業部門雇用者数変化は前回分が上方修正される一方、今回9月分が予想を下回り、失業率も7.9%まで低下。労働参加率は低し、強弱混在の結果にドル円は上下するが米金利が上昇する動きにドル円は上昇。10時に発表のミシガン大学消費者信頼感指数が予想を上回ったこともあり、105.39まで戻す。バイデン大統領候補、ペロシ下院議長、ムニューシン財務長官、ペンス副大統領等、要人のコロナ陰性情報が伝わり、トランプ大統領も軽度の症状が出ている等報じられるが、為替市場の反応は限定的となる。正午頃になり米景気対策合意が近づいているようなヘッドラインが伝わるものの、午後に入るとペロシ下院議長の「引き続き大きな隔たりがある」との発言が伝わり、ドル円は狭いレンジでの推移が続く。105.30レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1724レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果発表後の米金利上昇を受けたドル買いに、ユーロドルは1.1699まで反落する。その後は週末を控え方向感の無い狭いレンジでの推移が続く。1.1717レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

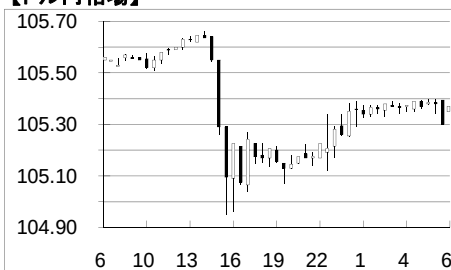
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月2日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/-0.3%	0.1%/-0.2%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 661k	859k
	21:30	米 失業率	9月 7.9%	8.2%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.1%/4.7%	0.2%/4.8%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 80.4	79

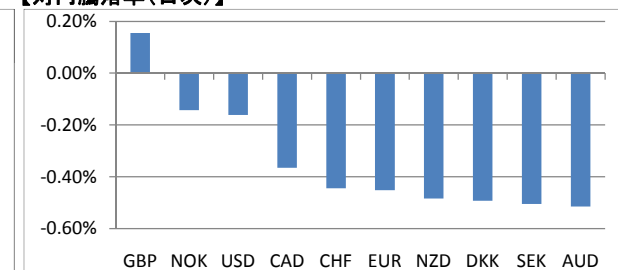
【本目の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月5日	16:55	独 マークイットサービス業PMI・確報	9月 49.1	49.1
	16:55	独 マークイットエンボジットPMI・確報	9月 53.7	53.7
	17:30	英 マークイットサービス業PMI・確報	9月 55.1	55.1
	17:30	英 マークイットエンボジットPMI・確報	9月 55.7	55.7
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 2.5%	-1.3%
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・確報	9月 54.6	54.6
	22:45	米 マークイットエンボジットPMI・確報	9月 -	54.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.80-105.90	1.1680-1.1780	123.10-124.00

【マーケット・インプレッション】

先日のドル/円はやや値を下げる展開。トランプ大統領のコロナウイルス感染報道を背景としたリスク回避の広範な円買いに、一時104.95円まで下落するも、日本時間中には一服。ニューヨーク時間に発表された雇用統計も強弱入り混じる結果となり明確な方向感はず。その後ペロシ下院議長の経済対策案の合意を目指すとの発言により、米長期金利が上昇し105.39円まで戻す展開もあったが、結局105.30円でクローズ。

本日のドル/円は105円台前半を中心とした値動きを予想する。現在の市場に最も影響を与えるのはトランプ大統領の容態であろう。現状軽症であり、回復に向かっているとのことではあるが、明確な状況が把握できるまでは積極的な取引は控えられるのではないかと。米追加景気対策の難航等により上値が重い中、トランプ大統領に関する報道次第では、さらなる下値を試す展開も想定しておきたい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル		7	14